

都市再生整備計画(第4回変更)

おおく ぼえきしゅうへんちく
大久保駅周辺地区

きょうと ふう うじし
京都府 宇治市

平成28年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	宇治市	地区名	大久保駅周辺地区	面積	約80 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 29 年度				

目標

大目標：水やみどりの自然と調和する、利便性の高いまちづくり ~ 大久保の魅力の更なる向上 ~

- 目標1 歩いて楽しい大久保づくり
- 目標2 来やすい・行きやすい大久保づくり
- 目標3 円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・近鉄大久保駅周辺は宇治市の南西部に位置し、豊臣秀吉の伏見城築造と共に造られた大和街道と、それ以前の主要街道であった奈良街道が会合した箇所であり古くから交通の要衝として栄えてきた。
- ・明治から昭和初期にかけて鉄道2本が開通し、近年においては、大阪、京都市内への通勤エリアとして周辺部の宅地化が進むにつれ、バス交通網も充実してきたことから、近鉄大久保駅を中心に城陽市、久御山町、宇治田原町などを結ぶ交通結節点としての発達に加えて商業地としても発展がみられた。
- ・その後、モータリゼーションの普及に伴い大規模商業施設の郊外出店が相次ぎ、中心商業地の衰退が深刻化すると共に駅周辺の幹線道路における交通渋滞が慢性化するなど、多くの課題が生じてきたことから総合的なまちづくりを進める必要性が高まってきた。
- ・そこで、近鉄大久保駅の高架事業を進める一方で、市街地再開発事業への取り組みを進めてきたが、この取り組みは経済事情等から平成13年に準備組合が解散するなど、実現にはいたっていない。
- ・そこで本市では、平成16年度から整備構想の策定に取り組み、市民や地域住民46名が組織する「大久保まちづくりワークショップ」において、タウンウォッチングや交通バリアフリー点検などを通じて地域の課題を発見すると共に、市民による解決案の提案を受けて「整備構想策定委員会」において検討を進め、平成18年度には、まちづくりの目標や整備方針等を示す「大久保駅周辺地区整備構想」の策定に至った。
- ・また、地区の現況としては、みどりが多く残る名木川をはじめ、上流には宇治市植物公園や山城総合運動公園など自然に親しめる空間が身近にあり、住環境としては比較的恵まれている。
- ・一方で、JR新田駅と近鉄大久保駅が約300mの距離を隔てて向かい合い、その間に挟まれた商業地は人が行き交う地域にもかかわらず、安全で魅力的な歩行空間が不足しており、かつての賑わいは見られない。
- ・また、商業地や駅などに向かう歩行経路についても安全性が不足しており、これからの高齢化社会にふさわしいまちづくりが求められている。また、幹線道路の交通量不足や踏切による交通渋滞が慢性化しており、バイパス道路の建設やこれらを活用したバス路線の充実並びに駅前広場の整備による交通結節機能の向上が求められている。
- ・平成19年からの5年間の計画期間で大久保駅周辺地区(第1期)都市再生整備計画事業を実施し、近鉄大久保駅前広場の整備、名木川散歩歩道の整備、バリアフリー特定経路など地域課題の解決を図る整備を実施するものの、駅前広場の整備に伴う周辺施設の充実、名木川河川改修や散策道のネットワーク化の更なる充実が求められている状況にあり、これまで実施してきた各種事業を活かしながら、継続的にまちづくりを進めていくことが必要な状況にある。
- ・JR新田駅東駅舎新設に伴い、一般車両乗降場整備等による交通結節点機能の向上や、周辺道路における安全で快適な歩行空間の充実が必要な状況にある。

課題

大久保駅周辺地区(第1期)都市再生整備計画の事後評価では一定の効果がみられたものの、以下の課題への対応が求められている。

- 整備済みの近鉄大久保駅前広場周辺に一般車両乗降場、駐車場などの整備により、駅前広場のターミナル機能の更なる向上が求められている。【目標1・2・3】
- 沿道利用に必要な側道整備や案内標識の整備により、安全で快適な歩行空間の充実が求められている。【目標1・2】
- 準用河川名木川の河川改修の計画的事業実施により、治水能力の向上や散策歩道のネットワーク充実が求められている。【目標1】
- JR新田駅周辺での一般車両乗降場等の整備や、安全で快適な歩行空間の充実などが求められている。【目標1・2・3】

将来ビジョン(中長期)

宇治市第5次総合計画

基本構想：土地利用のイメージとして、大久保地区はJR奈良線や近鉄京都線の鉄道、国道24号、京都府道城陽宇治線や宇治淀線など幹線道路がとおり交通の利便性が高いことから、住宅・商業・工業等、多様な土地利用がなされています。これらの機能を有機的に結びつけた広域的かつ多機能なまちを形成する地域とします。また、地区内の緑を保全しながら、さらに利便性を高め、本市の南の玄関口にふさわしいまちづくりを形成する地域とします。

宇治市都市計画マスタープラン

水やみどりの自然と調和する、利便性の高いまちづくり。

目標を定量化する指標

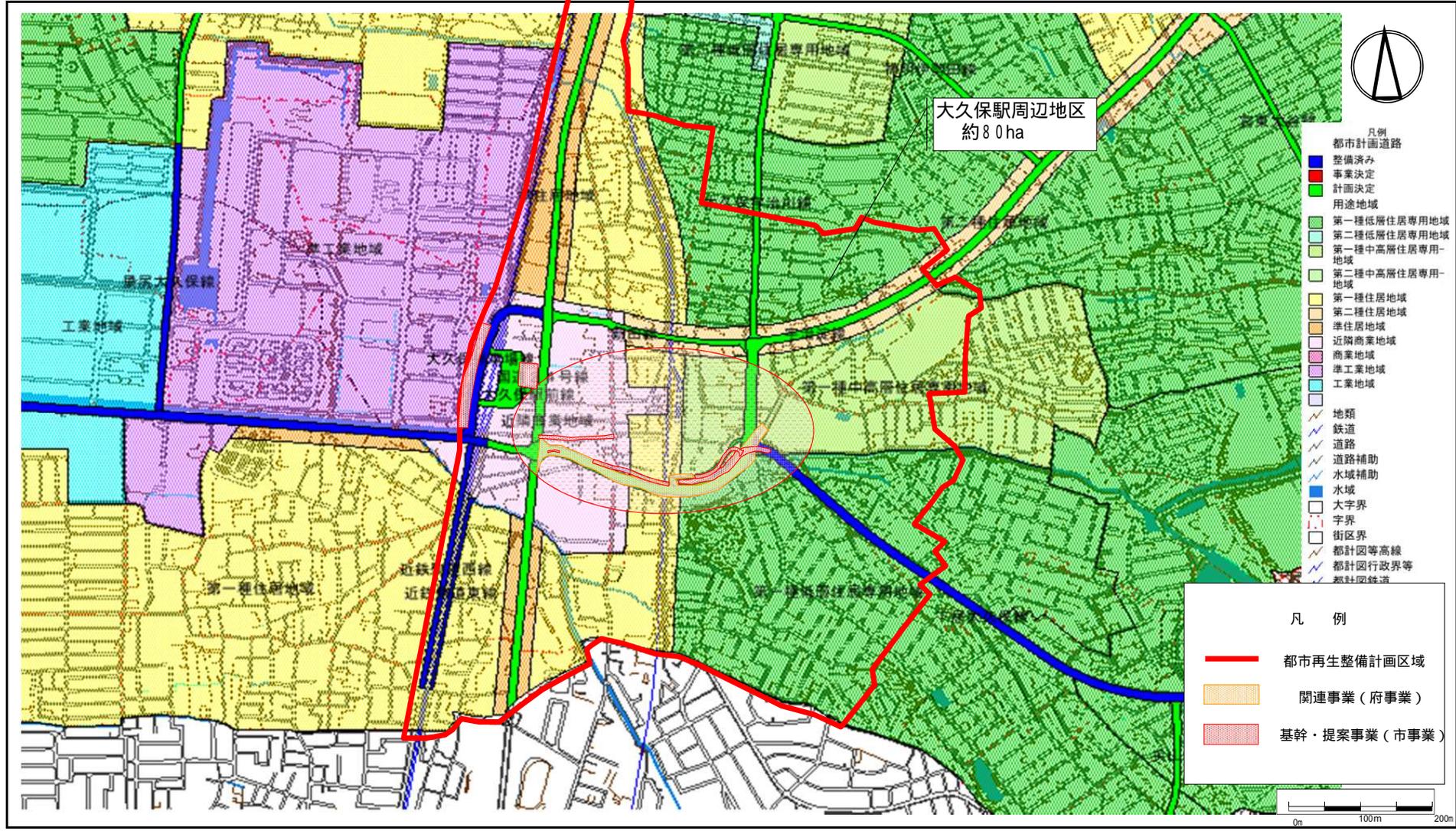
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1.路上K & R台数	台	ピーク時(7:00~9:00、17:00~19:00)の路上でのK & R自動車台数	乗換え・移動の快適性や歩行空間の充実等の効果をK & R自動車台数の減少で計測する。(路上でのK & Rを解消し、0台を目標とする。)	612	H23	0	H29
2.生活道路の自動車交通量	台/12h	整備前後の自動車交通量N台 / 12時(7:00~19:00)	来やすさ・行きやすさを向上する交通改善等を図った効果を、狭い生活道路を通過する自動車交通量の減少で計測する。	541	H23	350	H29
3.名木川流下能力	倍	改修前の流下能力Qと改修後のQ'の倍率(Q'/Q)	歩行空間の充実と安全・便利な大久保づくりの前提となるまちの安全性確保の効果を名木川の流下能力の向上により計測する。(名木川の全体設計にもとづく流下能力の確保を目標とする。)	1.0	H23	2.5	H29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1: 歩いて楽しい大久保づくり ・第1期で整備した歩行空間等をいかしながら、より楽しく・快適に歩くことのできる道路整備および歩行者環境整備等を実施する。</p>	<p>道路(城陽宇治線歩道整備) 地域創造支援(緊急車両通路整備) 地域創造支援(駅間誘導案内) 河川(名木川) 高質空間(名木川修景施設) 高質空間(新田城陽線整備) 関連事業(宇治淀線)</p>
<p>目標2: 来やすい・行きやすい大久保づくり ・大久保駅周辺への来やすさ・行きやすさをさらに高めるために、通過交通の排除や駐車場の適正確保等を実施する。</p>	<p>道路(宇治淀線北側側道) 地域創造支援(広野町14号線) 道路(広野町176号線整備) 高質空間(広野町176号線整備) 関連事業(市営駐車場)</p>
<p>目標3: 円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり ・駅前広場の利便性を更に高めるほか、整備済み区間を活用しながら歩行者ネットワークの充実を図るために、一般車両の乗降場整備等を実施する。</p>	<p>道路(一般車両乗降場) 高質空間(シェルター等) 地域生活基盤施設(広場整備)</p>
<p>その他</p> <p>継続的なまちづくりの活動の支援</p> <p>完成した都市施設(歩行空間等)の有効活用を図るための、地域主体の取組みを支援する。</p>	

都市再生整備計画の区域

大久保駅周辺地区(京都府宇治市)	面積	約80 ha	区域	広野町・大久保町の一部
------------------	----	--------	----	-------------



大久保駅周辺地区(京都府宇治市) 整備方針概要図

目標	目標1: 歩いて楽しい大久保づくり	代表的な指標	路上K&R台数	台	612 (23年度)	0 (29年度)
	目標2: 来やすい・行きやすい大久保づくり		生活道路の自動車交通量	台/12h	541 (23年度)	350 (29年度)
	目標3: 円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり		名木川流下能力	倍	1.0 (23年度)	2.5 (29年度)

